

国語採点基準

(総点100点)

- 〔注意〕
- 1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
 - 2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
 - 3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
 - 4 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
 - 5 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問	題	正	答	配	点	
1	1	(1) すみ(やか)			2	
		(2) ゆかい			2	
		(3) いなか			2	
		(4) と(ける)			2	
		(5) そつきょう			2	
	2	(1) 浴(びる)			2	
		(2) 股(ける)			2	
		(3) 吸(収)			2	
		(4) 発(揮)			2	
		(5) 簡(潔)			2	
	3	イ			2	
	4	エ			2	
	5	ア			2	
	6	ウ			2	
7	ア			2		
2	1	いいつたえ			2	
	2	エ			2	
	3	例 長年の家の松を、童の望みどおりに与えること。			2	
	4	ウ			2	
	5	イ			2	
3	1	エ			3	
	2	例 客観的な原理に基づいて制作された作品。			4	
	3	イ			3	
	4	ア			3	
	5	a どのような場合に美が生まれるかということ			4	
	b 長くは続かない			4		
6	ウ			3		
4	1	イ			2	
	2	例 絵師の概念を襲せて、魅せるもの			3	
	3	(例) 絵の中の人物のこころを考えないで描くからつまらない 絵しか描けないのだと、父をいつそう侮蔑する気持ち。			4	
	4	ア			3	
	5	エ			4	
	6	ウ			4	
5	〔評価の観点〕				20	
	1	形式	目的に応じた適切な叙述であるか。 字數と段落構成が条件に合っているか。			
	2	内容	第一段落には、二つのグラフから読み取ったことが書かれているか。 第二段落には、第一段落に書かれたことを踏まえて自分の考えが書かれているか。			
	3	表現・表記	文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。 語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。			
※ これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。						